

島原く深溝松平の

歴史を訪ねて



▲島原城

現在、幸田町教育委員会では深溝松平家墓所の国史跡指定に向けて深溝松平家の歴史と文化の調査を進めています。広報ではこれまで深溝松平家の紹介や文化財調査の報告を行ってきましたが、今回の特集では、深溝松平家の領地であった長崎県島原市に築かれた菩提寺「瑞雲山本光寺」と島原市の文化財の紹介をさせていただきます。

まずはなぜ同じ名前の菩提寺が幸田町と島原市にあるのか、お寺の歴史をひも解いてみましょう。

1 本光寺の歴史

●本光寺の成立と移動

深溝の瑞雲山本光寺は現在深溝里区内にあります。初代松平忠定によって創建された当時は深溝市場区内にあったといわれています。創建当時の所在地と伝えられている場所には初代・2代当主の墓石（首塚）があり、話の信憑性を高めています。現在の位置に移動したのは5代当主松平忠利のころではないかといわれています。この瑞雲山本光寺ですが、深溝松平家の菩提寺であるため当主の領地が異動するたびにお寺も一緒に移動しています。4代松平家忠



▲島原本光寺山門

が関東の忍城主（埼玉県行田市）となった際には忍に本光寺を建てています。5代忠利が吉田藩主（豊橋市）となった際は吉田に移り、6代松平忠房の時代には異動した刈谷・福知山（京都府福知山市）・島原にそれぞれ建立し、10代松平忠祇の時代には異動した宇都宮に、11代松平忠恕の時代には再度異動した島原に建立しています。



▲市場区に建つ初代・2代墓石

●それでは深溝の本光寺は？

このように寺自体が移動しているため旧領地に本光寺は残らないことになりませんが、そこで疑問となるのが深溝にある本光寺の存在です。実は5代忠利が吉田藩主となった時、本光寺は吉田に移されましたが、深溝の寺は松平家父祖の魂の眠る場所

として瑞雲山本光寺末寺の瑞深山源光寺として存続することになりました。現在の寺名の「瑞雲山本光寺」に戻るのには深溝松平家が島原藩主として島原に異動して以降の、寛文13年（1673）のことです。島原藩の記録である『島原藩日記』には、江戸幕府が出した御朱印状に「瑞雲山本光寺」と書かれているのに実際の寺名が「瑞深山源光寺」では都合悪いという理由で改称となったと記録されています。これ以降、島原藩日記において「島原本光寺」、「三州本光寺」として区別されるようになりました。

▼深溝本光寺に建つ初代～4代の墓石



▲解説が進む島原藩日記

●二つの本光寺の役割

島原本光寺と深溝本光寺はその役割が分かれていました。島原本光寺は「本光寺」として当主の異動につき従い移動した寺であり、藩主の近くにおいて日々行われる藩主の父祖の菩提を弔う仏事や説法などが行われていました。藩日記には藩主や代理の家臣が島原本光寺に度々訪れています。

深溝本光寺は歴代当主の墓所が築かれており、墳墓の地として歴代当主の菩提を弔う役割を担い、島原藩からの命令を受け廟守として墓所を管理していた横落家が墓所を守っていました。当主・藩主の法事には島原藩から代理の家臣が訪れており、また参勤交代の途中で藩主が先祖の墓参りに立寄ることもあったようです。

▼島原本光寺の本堂



▲島原藩主一族の墓所（一ノ廟墓所）

2 島原本光寺と島原市の史跡

●島原本光寺に眠る藩主の一族

島原本光寺がある場所はずもと末寺の浄林寺があった場所であり、この浄林寺は藩主の一族を葬る場所でした。島原本光寺において葬儀を終えた後、遺骸を運び葬っていたようです。島原本光寺の奥の山には一ノ廟所から三ノ廟所まで築かれており、6代松平忠房の生母墓や7代松平忠雄墓を中心に、歴代藩主の妻子の墓石が並びます。忠雄墓は深溝にもあるため、島原と深溝の両方に墓石がある唯一の人物になります。



▲島原本光寺常盤資料館

●島原本光寺常盤資料館

島原本光寺には常盤資料館とよばれる島原藩や松平家の歴史が詰まった資料館が開設されています。

この資料館では明治時代に島原本光寺に移設された14代松平忠精夫人が住んでいた常盤御殿を中心にさまざまな歴史資料を収蔵・公開しています。収蔵されている資料はどれも貴重な資料ばかりですが、その中でも愛知県の歴史を調査していくうえで特に注目されるのは、徳川氏や松平一族全般、今川氏などに関係した古文書になります。今年の2月、幸田町教育委員会も古文書の調査のた

め現地に赴きましたが、愛知県内の多くの市町村や研究者も、島原本光寺に調査に訪れています。

●島原市内の文化財

島原市は島原城の城下町として発展した街です。島原城を中心に松平忠房が収集した書籍を保管する松平文庫や武家屋敷が残る島原市鉄砲町地区などが大切に保存されており、街のいたる所で深溝松平家の歴史を垣間見ることが出来ます。

長崎県に行く機会がありましたら、ぜひ島原市を散策していただき、深溝松平家の歴史に浸ってみてください。(生涯学習課生涯学習G(内線195))



▲今に残る武家屋敷街